

令和6年度過重労働解消キャンペーン

トラックドライバーの長時間荷待ち等の改善に取り組む企業訪問



トラックドライバーの長時間荷待ち等の改善に向けて、荷主企業、運送事業者の代表者の方と意見交換を実施しました。



栃木労働局
局長 川口 秀人



コマツ物流株式会社
代表取締役社長
西川 知良 様

栃木運輸支局
支局長 吉池 明人

芳賀通運株式会社
代表取締役社長
塚本 貴士 様



オブザーバー：
一般社団法人栃木県トラック協会



1 ドライバーの労働時間短縮策

◆ オンラインによるバス予約システムを導入し、入荷車両を分散してドライバーの構内滞在時間削減！【コマツ物流のセンターで導入・運用中】

◆ ドライバーの構内滞在時間をリアルタイムで把握し、滞在時間が2時間超となりそうな時には、荷主企業のサポート員がドライバーの作業を補助！

◆ 構内滞在時間を削減するため、構内運搬や荷造り作業を荷主企業が実施！

◆ 長時間労働を削減するため、モーダルシフト(鉄道・内航船)を関係企業と連携し拡大！

<予約フロー>



2 ドライバーの勤務環境改善策

◆ 工場内にトラックドライバー専用の休憩・休息所を設置し、隣接する厚生棟での食堂利用やコンビニ利用も可能に！

栃木労働局や栃木運輸支局では、連携しながら荷主・元請事業者に対して働きかけを行っています！
また、ドライバーの労働時間短縮や勤務環境の改善に向けて、荷主企業、運送事業者が連携して取り組んでいる事例も増えています。



休憩所に隣接する厚生棟(食堂)
※ドライバー食堂利用可

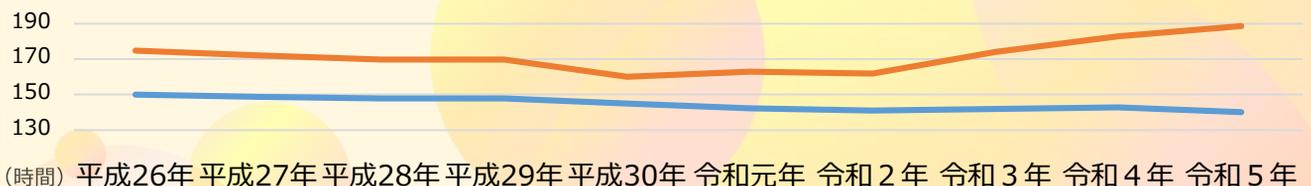


他の改善事例等は右記QRコードより「はたらきかたススメ」をCheck!➡



参考情報

栃木県の産業別労働時間



※栃木県「毎月勤労統計調査地方調査結果(年報)」より作成
※事業所規模5人以上/常用労働者1人平均